

2月になりました。今日3日は、節分ですね。なので、今日は節分のお話をします。

「節分」というのは季節を分けるという意味です。日本では季節が「春、夏、秋、冬」と4つあります。ですから本当は節分は1年に4回あることになります。それぞれの季節がやってくる前の日が「節分」ということになっています。2月4日が立春と言って、明日から「春」がはじまります。まだまだ寒いのですが、もう明日からは春なのです。ちなみに夏を表す立夏は5月5日です。秋を表す立秋は8月7日、冬を表す立冬は11月7日です。

昔のこよみでいうと立春は1年の始まり（つまりお正月）で、その前の日の節分は、大晦日にあたります。それでこの節分が一番重要視されて、現在では節分と言えば2月3日ということになったのです。

ところで、節分にやることといえば豆まきですね。この行事は「追儺（ついな）」とよばれ、中国から伝わってきたのだそうです。この追儺の行事は、病気などをもたらす悪い鬼を追い払う行事で、もう1300年以上も続いている行事です。

一般的な家では、家の主人や年男が煎った大豆をまき、家族は年の数だけ食べるとその年は病気にならず長生きするといわれています。福島県では落花生をまく家が多いようですが。

豆まき以外にも、焼いたイワシの頭とひいらぎの葉（とげのある葉っぱですね）を玄関にさす地方もあります。鬼は、イワシの焼いたにおいが大嫌いなのだそうです。大阪では縁起のよい方角を向いて恵方巻というお寿司を食べる風習もあります。それがだんだん広まってきて、みんなの家でもやるようになってきています。あっそうそう、4年生の〇〇君、〇〇さん、2年生の〇〇君の家では豆まきをしますか？実は、しなくてもいいんです。この3人に共通するのは何でしょうか？そうです。3人とも名字が「渡部」です。渡部という名字は、鬼も恐れる名前なので豆まきをしなくてもいいそうです。こんなふうに地方によって様々なやり方や言い伝えがあるようです。詳しい意味や由来など興味のある人は、図書館やインターネットで調べてみてください。

どの行事も悪いことを追い払って、「健康で過ごせるように」という人々の願いが込められています。今年もまだインフルエンザがはやっています。新型コロナウイルスのニュースも毎日のようにやっています。まだまだ寒い日が続きます。インフルエンザや風邪の予防をしっかりとやって元気に過ごしましょう。終わります。